

琵琶湖博物館 30 周年記念企画展示が人気沸騰！ 過去最速で入場者 1 万人を突破しました

概要

- ・ 7 月 18 日（土）から始まった琵琶湖博物館 30 周年記念企画展示「博物館はタイムマシン-魚類学者がみた琵琶湖-」の入場者数が、7 月 26 日（日）に 1 万人を突破しました。
- ・ 9 日目での 1 万人突破は、過去最速となります。
※これまでの最速は令和 4 年（2022 年）の「チョウ展-近江から広がるチョウの世界-」の 12 日目。

詳細

企画展示「博物館はタイムマシン-魚類学者がみた琵琶湖-」の入場者数が、7 月 26 日（日）に過去最速で 1 万人を突破しました。7 月 19 日（日）には、1 日最多入場者数を更新する 2,127 人（これまでの最多は 1,681 人）を記録しました。

今回の企画展示は、魚類を中心とした約 230 点の自然史標本を通して、琵琶湖の魚類相の変遷や淡水魚類研究の歴史をたどります。国内外の博物館で保管されている貴重な標本を多数展示しており、魚類学者たちの研究に懸けた情熱やそれぞれの標本に隠されたストーリーに思いを馳せながら、琵琶湖の価値や博物館資料を遺すことの重要性を考える内容です。

ドイツ人の医師・博物学者シーボルトのコレクション 4 点（トキ、ドジョウ、ゲンゴロウブナ、カマツカ）は日本初公開で、江戸参府の道中に滋賀県で購入したと考えられているトキの標本は 200 年ぶりの“里帰り”となり、注目を集めています。

開催期間等

開催期間：令和 8 年（2026 年）7 月 18 日（土）～11 月 23 日（月・祝）

開館時間：9：30～17：00（最終入館 16：00）

場所：滋賀県立琵琶湖博物館企画展示室

料金：（常設展示観覧料）大人 840 円、大学生 470 円、高校生以下無料

（企画展示観覧料）大人 340 円、大学生 270 円、小・中学生・高校生 170 円

※企画展示をご覧になるには、常設＋企画展示の観覧券が必要です。

